

「人と人同士」

編集委員 安福直剛

日々小論

7月に建国250周年を迎える米国は、日本でも多くの祝賀イベントを企画している。その舞台の一つとなったのが、神戸・北野の異人館「**萌黄の館**」。

1903年、米国総領事ハンタール・シャープが自邸として建てた。節目を祝うにはうってつけの場所だろう。

米国大使館や総領事館は5月、この館に記念となる銘板を寄贈し、式典を開いた。当日は駐日米国大使首席**A**のエリック・ジェイコブス氏も東京から来神し、日本のガイドから同

「people to people (人と人同士)」。

米国のリチャード・N・ラーセン総領事は、私の目を真つすぐに見つめて言った。日米両国の友好関係は経済から宇宙開発まで多くの分野に及ぶが、最も大切なのは「人と人同士の関係」であり、神戸ではそれが根付いていると。

館の歩みや特徴について説明を受けるなど、時空を超えた人と人との交流が実現した。

萌黄の館に限らず、神戸の人たちは長年にわたって異人館の保存に**B**してきた。「市民に向けてメッセージを」とお願いすると、総領事から冒頭の言葉が返ってきた。リップサービスかもしれないが、表情とまなざしは真剣だった。

「国と国同士」では利害やメソツが複雑に絡み合い、世界はいま、混乱と困難の中にある。米国のリーダーの振る舞いには、日本も随分と振り回されている。しかし「people to people」のつながりは、そうした利害などとは関係なく成り立つものだろう。

開港以来、多様な文化を受け入れてきたまち、神戸・北野。その寛容さと歴史の重みが、総領事の心の奥底にある言葉を引き出したのかもしれない。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 ■部ABに入る語として、次のカタカナを漢字に改めて書きましょう。

A:ホサカン[] B:ジンリョク[]

2 傍線部①の様子を言い換えた2字の熟語を本文中から抜き出しましょう。

--	--

3 傍線部②「うってつけ」の類義語でないものをすべて○で囲みましよう。

もってこい お門違い おあつらえむき 最適

4 傍線部③はどの言葉をさしますか。本文中から抜き出して書きましよう。

[]

